

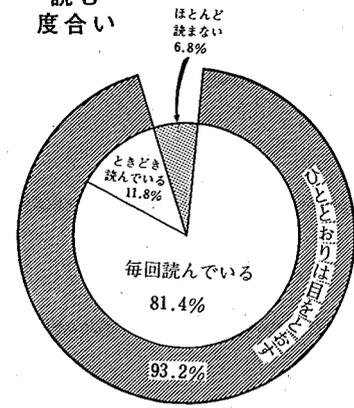


質問にもころよく(本町3地内で)

広報は読まれているだろうか...

— 220人に街頭アンケート —

広報を 読む 度 合 い



広報も今号より三〇〇号、毎月二回である。「広報について」は、果たして市民のみならず、に読まれているのだろうか。

市では、去る市日と日曜日の重なる六月一日の日を逃さず、小規模ながら広報に対する「街頭アンケート」を行ってみたい。

○：広報が読まれる度合いはどんなだろう。

○：広報に対する市民の声はどんなところにあるだろうか。

○：もっと充実した紙面を求めていくには—こんなよくばったねらいですが、道行く人に質問して聞き取り回答を求めたものです。

つまりこの調査は、街頭での面接聞き取りです。「一時間がないから」と急ぐ人や市外の人も多いかも知れませんが、こんな関係で、質問要旨もできるだけ簡潔にして、面接人が即答できやすいように調査員それぞれに配慮を考えました。

面接場所の重点は、露店市場の開設周辺、この日は日曜日に加えて神社境内には県のさつき展も開催中。八人の調査員それぞれで「お急ぎのところすみません」と二百二十人の一般成人の調査対象者に呼びかけました。

質問者のうちの男女別では男の人百十二人、女の人が百

八人とほぼ同数。年代層も求えていくには—こんなよくばったねらいですが、道行く人に質問して聞き取り回答を求めたものです。

この判断で記入されたもので、三十歳台と四十歳台が各五十八人、五十歳台が三十八人、六十歳台が三十六人、二十歳台三十二人、そのほかが十四人という結果でした。

調査結果から面接人の地域別をみました。

市の中心部に住んでおられる人たちが百四十一人でやはり圧倒的。次いで荻川地区が二十七人、金津地区が十九人、小合地区十四人、阿賀満地区十二人、新開地区五人、その他二人の回答者でした。

広報が届くのは早いほう—六五・九%

広報の配布方法は、区長さんを通じてお願いしています。まず「お宅へ広報が届くのは早い」ということからお聞きしました。

「早いほうです」と答えた方は六五・九%、「遅く届く」は二六・八%で、「うっかりしていてわからない」という人が七・三%ありました。

「遅く届く」と答えた人の中には「隣組長さんが回覧板で回すため」とか、「時には回覧板にはまきまわっていないこともある」といった意見も聞かれました。

「広報について」には、これまで日々の健康管理や市役所の日常、市内の官公庁案内と、いろいろな知識や紹介などが連載されました。今でも続いている連載モノを除いて、創刊以来の主な連載記事をひろってみました。

♥文芸欄：短歌、俳句、詩、川柳などが、愛好者みなさんの投稿によって、二十九年一月から十年近くも続けられました。

♥衛生欄：二十九年六月から十一回ほど、日常の健康管理など保健の知識を紹介しました。

♥婦人の欄：投稿による季節のカットが、婦人欄の見出しをかざりました。三十年七月から九回は横山精一氏から、また三十二年四月から一回は桐生トミさんの投稿によるものでした。

♥国体シリーズ：三十六年十二月から十七回にわたって、新潟国体新津市会場を記念した「国体の姿」などが紹介されました。

♥学校めぐり：三十七年七月から十一回、市内の小中学校を紹介しました。

広報に目を通す人は九三・二%—*

次いで広報を読んだことがありませんか—という質問に「毎回来読んでいる」人が八一・四%、「時どき読む程度」が一・八%、「ほとんど読まない」は六・八%で、一応広報に目を通している人が九三・二%ありました。

「ほとんど読まない」の理由には「わからない」という人が七三・三%、「ひまがない」が二六・七%ありましたが、「毎日読んでいる人、時どき読んでいる人」を年代別にみでました。

ここでは、四十代の人八%と多く、次いで五十代の九四・七%、三十代の九四%の順で、七十代の八四・六%

(年代別にみた結果)

区分	回答者数	ひととおりは目とおしている		ほとんど	
		いる	ときどき読んでいる	読まない	ほとんど
年代	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)
20代	32	21	(65.6)	7	(21.9)
30代	50	41	(82.0)	6	(12.0)
40代	45	45	(100.0)	4	(8.9)
50代	38	31	(81.6)	5	(13.1)
60代	36	30	(83.4)	3	(8.3)
70代	13	10	(76.9)	1	(7.7)
80代	1	1	(100.0)	0	(0.0)
計	220人	179人		26人	

(性別と年代別にみた結果)

区分	回答者数	ひととおりは目とおしている		ほとんど	
		いる	ときどき読んでいる	読まない	ほとんど
性・年代	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)
男 20代	11	7	(63.6)	3	(27.3)
男 30代	19	12	(63.2)	5	(26.3)
男 40代	23	23	(100)	—	—
男 50代	24	19	(79.2)	3	(12.5)
男 60代	26	26	(100)	—	—
男 70代	8	8	(100)	—	—
男 80代	1	1	(100)	—	—
女 20代	21	14	(66.6)	4	(19.0)
女 30代	31	29	(93.6)	1	(3.2)
女 40代	27	22	(81.5)	4	(14.8)
女 50代	14	12	(85.7)	2	(14.3)
女 60代	10	4	(40.0)	3	(30.0)
女 70代	55	2	(40.0)	1	(20.0)
女 80代	—	—	—	—	—

「お宅では誰れが一番広報をよく読みますか」ということもみんなに聞きました。

「ご主人」「奥さん」が三

一番よく読む人は「ご主人と奥さん」—*

「お宅では誰れが一番広報をよく読みますか」ということもみんなに聞きました。

「ご主人」「奥さん」が三

○%台で一番多く、「家族みんなが」が三・九%、「おじいちゃん」が二・八%、「おばあちゃん」の七・七%もありました。

回答者に人気があった連載モノ—*

「毎回来読、時どき読む」人に「どんなところをよく読みますか」ということをたずねました。

広報には、一日号、十五日号それぞれに、いろんな連載物があります。これらの記事を—と答えた人が一番多く、次いで市からのお知らせや行事など、市政の動きなどの順ですが、それぞれに平均した答えがでました。

中でも、予防接種や健康診断、カメラスケッチ、地域の話題などは目を通している。

という傾向がみられました。

注文は「もっと地域の話題も掲載して」

「毎回来読、時どき読む」人に「広報へ注文する」としたら「三」も聞きました。

特に「と」答えた人は四五%ありましたが、「お知らせを強化して」、「もっと地域の話題を」などの要望も出されました。主なものでは▽広報をもっと早く手元に届かようにして▽やさしくわかりやすく▽身近なことや市民の声もどんどんのせて▽健康管理のことやスポーツ関係、それに史蹟の紹介も▽ニュース的なことも取り上げて▽ページの数を増やして▽市の変わっていくようす—などがありました。

- ♥電話教室：四十二年二月から七回にわたって、通話のエチケツや度数制などダイヤル式電話の必要などを紹介しました。
 - ♥市役所へご案内：四十二年六月から十七回、市役所はどんなことをしているのかなどを紹介しました。
 - ♥戸籍シリーズ：四十四年八月から十五回、家族関係など戸籍全般について紹介
 - ♥市内官公庁へご案内：四十八年二月から二十九回にわたって、市内官公庁のしごとを紹介しました。
 - ♥年金シリーズ：四十六年一月から十回、年金制度をやさしく解説しました。
 - ♥私の健康法：四十七年四月から十九回、寄稿とインタビューで紹介しました。
 - ♥ママさんの国語教室：四十八年一月から六回、漢字の筆順や作文の書き方などを連載しました。
- なお、市民の声を紹介する「接点」は、「ポスト」一「声」などと名前が変わりましたが、創刊当時から今でも続けられています。また、教育寸描は、四十二年から始められているほか、市長雑感、リレー随想、古今川柳漫歩など、まだまだ多くの連載中のもあります。

お買物、ご用命は市内で

—プッシュホンで電話計算を—

プッシュボタンをピポパと押せば

シュウさいみに計算できる

ホンとに便利な電話です 心をつなぐ

新津電報電話局

お買物、ご用命は市内で

むかしからひろった

広報の主

な連載物

「広報について」には、これまで日々の健康管理や市役所の日常、市内の官公庁案内と、いろいろな知識や紹介などが連載されました。今でも続いている連載モノを除いて、創刊以来の主な連載記事をひろってみました。

♥文芸欄：短歌、俳句、詩、川柳などが、愛好者みなさんの投稿によって、二十九年一月から十年近くも続けられました。

♥衛生欄：二十九年六月から十一回ほど、日常の健康管理など保健の知識を紹介しました。

♥婦人の欄：投稿による季節のカットが、婦人欄の見出しをかざりました。三十年七月から九回は横山精一氏から、また三十二年四月から一回は桐生トミさんの投稿によるものでした。

♥国体シリーズ：三十六年十二月から十七回にわたって、新潟国体新津市会場を記念した「国体の姿」などが紹介されました。

♥学校めぐり：三十七年七月から十一回、市内の小中学校を紹介しました。

看板■車輛文字専門

技術本位.....

二本看板

新津市本町1 TEL (2)-1380

MEN'S LADY'S

メンズウェア

スラックス!!

ダーバン

レデース

いちだ

MIMI

新津市本町2 ☎ (4) 0648 ☎ (4) 0658